

# 心理学を生かした実践知の創出

—指導法の設計・実践から学習支援ツールの開発まで—

事前  
申込制  
参加費無料

お申込みは、下記URLまたは右のQRコードよりご登録ください。

<https://forms.gle/WnimcZbxKcPq4gfd7>

- ・定員70名（先着順）／申込締切 3月15日（日）
- ・オンライン配信を行いますが、対面でのご参加をお勧めします（Zoom URLはこちら）



3月21日 土

10:00 - 17:00（終了後、懇談会）

会場

東京大学本郷キャンパス  
教育学部棟 158番教室 

## プログラム

10:00~10:10 開会挨拶、趣旨説明

10:10~12:00 セッションⅠ：研究者による指導法設計・実践

1. 英単語学習における「覚える・思い出す・覚えなおす」の循環的指導の効果：成瀬陽奈子（広島大学）
2. 「持ち込み可能テスト」は子どもの理解や信念にどのような影響を及ぼすか：伊藤太一・植阪友理（東京大学）
3. 全学力層の深い理解を促す授業の検討：順序性と処理水準を要因とした実験：高橋幸太郎（東京大学）

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~14:50 セッションⅡ：英語スピーキング力の育成

1. EFL 教室における英語スピーキング力向上のための実践：Emmanuel Manalo（京都大学）
2. アフレコ活動を用いた英語スピーキング学習の改善に向けた授業の試み：李欣然・植阪友理（東京大学）
3. 台湾と日本の小学生による交流は子どもに何をもたらしたのか：植阪友理（東京大学）・仲谷佳恵（大阪大学）

14:50~15:10 休憩

15:10~16:30 セッションⅢ：教師と学習者を支援するツールの開発

1. 英語スピーキング表現方略練習システムHanaSの開発と実践  
：仲谷佳恵（大阪大学）・小野雄一（筑波大学）・立花卓遠（東京大学）
2. 深い理解へ導くための問題を生成する Web システムの開発  
：小田紘久（静岡県立大学）・柴里実（東京科学大学）・植阪友理（東京大学）
3. 中学生の科学的探究と先端科学を繋ぐツール開発と自律性の支援  
：小坂那緒子（東京大学）・木村宏（東京科学大学）

16:30~17:00 全体討論、閉会挨拶

終了後、懇談会（参加費1500円程度）

主催：科研基盤A「21世紀型の学力・学習力の測定と向上：新たな評価の開発からデジタルツールの活用まで」（代表：東京大学 植阪友理）



お問い合わせ先：yuri-uesaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp